

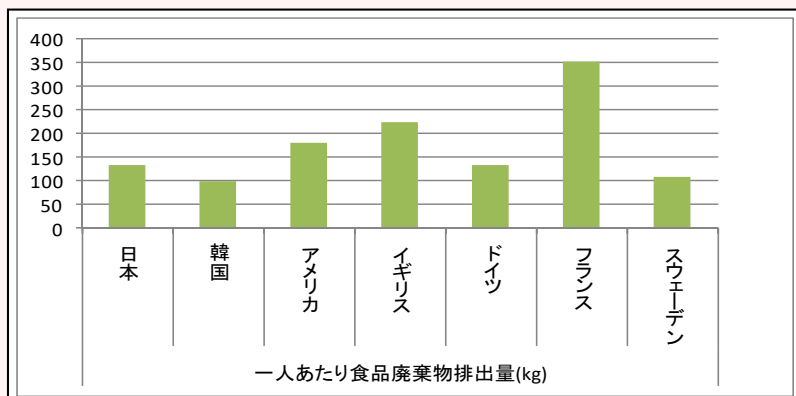
2019年2月の環境活動報告

「食品廃棄問題」

- 日本では、1年間で1700万トンの食品廃棄物が発生しています。
- その中で、まだ食べられる分が500~800万トンもあります。
- この量は、日本で1年間で収穫されるお米の量(850万トン)とほぼ同じです。

この内、約半分が家庭から廃棄されています。
少しでも、この量を減らさなければなりません。
食品の廃棄にもエネルギーを使っています。その無駄遣いを減らす必要があります。

■各国における食品廃棄物の発生量



出展：消費者庁 「各国における食品リサイクル等の実施状況」

■家庭で眠っている食品を提供しよう！

日本でも、フードバンク(フードドライブ)が広がって来ています。
これは、企業や家庭から余っている食材を集めて、
必要とされている団体や施設に寄付をする運動です。

対象品：缶詰・インスタント食品・パスタ等の乾物・お茶・調味料・飲料
家庭で眠っている使わない食品を提供することで、メリットがあります。



★メリット

提供側：廃棄コストの削減や、収納スペースを空ける事ができます。
受領側：食費の節約・幅広い食材の確保

■食品廃棄は、ムダ(ロス)に気づくこと

自分がどのくらいの食べ物を捨てているかを意識して、少しでも気をつけることで
食材廃棄する量は減らせるはずですよ。

「もったいない」を「ありがとう」に変えてみましょう。

2019年2月エコアクション活動実績

	内容	目標	2月実績	達成度合	判定
節電大臣	使用量前年同月比10%削減	1,385 kwh/月	2,045 kwh	67.7%	未達成
節水大臣	使用量前年比10%削減	11.842 m ³ /月	11.604 m ³	102.1%	達成
ごみ処理大臣	ゴミ総排出量削減 目標30.03Kg以下	30.03 Kg/月	42.50 Kg	70.7%	未達成
グリーン購入大臣	グリーン購入品推進80%以上	80 %/月	90.9 %	113.6%	達成
製品サービス大臣	省エネ省資源化の提案	10 件/月	0 件	0.0%	未達成